

# 警察用船舶の整備



平成27年6月15日  
警察庁生活安全局地域課

## 警察用船舶の概要

警察用船舶は、全国に159隻<sup>※</sup>配備されており、

- ・ 水上パトロール
- ・ 水難者の捜索・救助
- ・ 水上レジャーに対する安全指導等
- ・ 密入国・密輸、密漁事犯等の水上犯罪の取締り
- ・ 遺体の収容、漂流物の回収
- ・ 災害発生時の捜索・救助、輸送等
- ・ 重要施設に対する警戒警備
- ・ 離島連絡（警察職員、被疑者等の輸送等）

等の水上警察活動を行うことにより、国民の安全・安心を確保している。

※ 平成26年度末現在

### 【活動状況（平成26年中）】

犯罪検挙人員数：189人  
（漁業法違反、海事法違反等）  
指導・警告：252件

保護救助人員数：96人  
遺体の収容数：230体

## 警察用船舶の活動状況

### 水上パトロール



### 水難者の捜索・救助



### 災害発生時の捜索・救助等



※写真:訓練時

### 重要施設に対する警戒警備



## 警察用船舶による活動事例

### 【救助事例】

○平成26年5月、静岡県静岡市清水港沖において停泊中のプレジャーボートにタンカーが衝突し、プレジャーボートの乗船員が転覆したとの通報を受け、警察用船舶が出動。要救助者を発見し、無事救助。（静岡）

○平成26年6月、東京港区芝浦の運河において「人が飛び降りて橋脚に挟まっている」との通報を受け、警察用船舶が出動。現場到着後、要救助者を発見し、無事救助。（警視庁）

### 【検挙事例】

○平成26年8月、佐賀県松浦川河口における密漁情報に基づき警察用船舶で現場臨場し、密漁船の発見、動静を監視しながら追尾し、密漁船を追い込み確保。密漁者2名はハマグリを密漁を認め漁業法違反で検挙。（佐賀）

○平成26年8月、山梨県河口湖において、高速で走行する水上オートバイがいるとの通報を受け、警察用船舶が出動。事情聴取の結果、無免許操縦していたことが判明し、船舶職員及び小型船舶操縦者法違反で検挙。（山梨）

### 【その他】

○平成26年8月、諏訪湖祭湖上花火大会において、警察用船舶を出動させ警戒を実施し、警戒線の確保、救命胴衣の着用指導、夜間航行灯の点灯指導等を実施し、水上における事故や混乱等を防止した。（長野）

○平成26年1月、「息子の友達が釣りに出掛けたが帰ってこない。海中で釣り竿等を発見した」との通報を受け、鹿児島県大島海峡内を警察用船舶、海上保安庁監視取締艇等で合同で広範囲に搜索した結果、行方不明場所から約6キロの地点に漂流している遺体を発見し、警察用船舶に遺体を収容した。（鹿児島）

## 警察用船舶の種類

| 船種               | 23m型<br>(23m以上)    | 20m型<br>(19m以上～<br>23m未満) | 17m型<br>(15m以上～<br>19m未満) | 12m型<br>(10m以上～<br>15m未満) | 8m型<br>(10m未満)     |
|------------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------|
|                  | H18年度仕様            | H5年度仕様                    | H26年度仕様                   | H26年度仕様                   | H26年度仕様            |
| 船体材質             | 軽合金製               | FRP製<br>(強化プラスチック)        | 軽合金製                      | 軽合金製又は<br>FRP製            | 軽合金製又は<br>FRP製     |
| 全長               | 24m                | 21m                       | 18.5m                     | 13.4m                     | 10m                |
| 総トン数             | 38トン               | 29トン                      | 19トン                      | 10トン                      | 4.9トン              |
| 最大速力             | 40ノット<br>(約74km/h) | 29ノット<br>(約54km/h)        | 40ノット<br>(約74km/h)        | 40ノット<br>(約74km/h)        | 38ノット<br>(約70km/h) |
| 契約実績額<br>(1隻当たり) | 約3億3000万円          | 約1億1000万円                 | 約1億3000万円                 | 約5000万円                   | 約3000万円            |
| 定員               | 48名                | 30名                       | 16名                       | 14名                       | 8名                 |
| 配備数※             | 14                 | 3                         | 43                        | 48                        | 51                 |
| 備考               |                    |                           |                           | トランサムリフト<br>装備            | トランサムリフト<br>装備     |

※ 平成26年度末現在

23m型



20m型



17m型



12m型



8m型



# 警察用船舶の配備基準

## ◎ 配備方針

船舶は、港湾（船籍港）を拠点とする水域を中心に活動  
 →重要港湾等（国の利害に重大な関係を有する港湾として港湾法令で指定）への配備を原則としつつ、

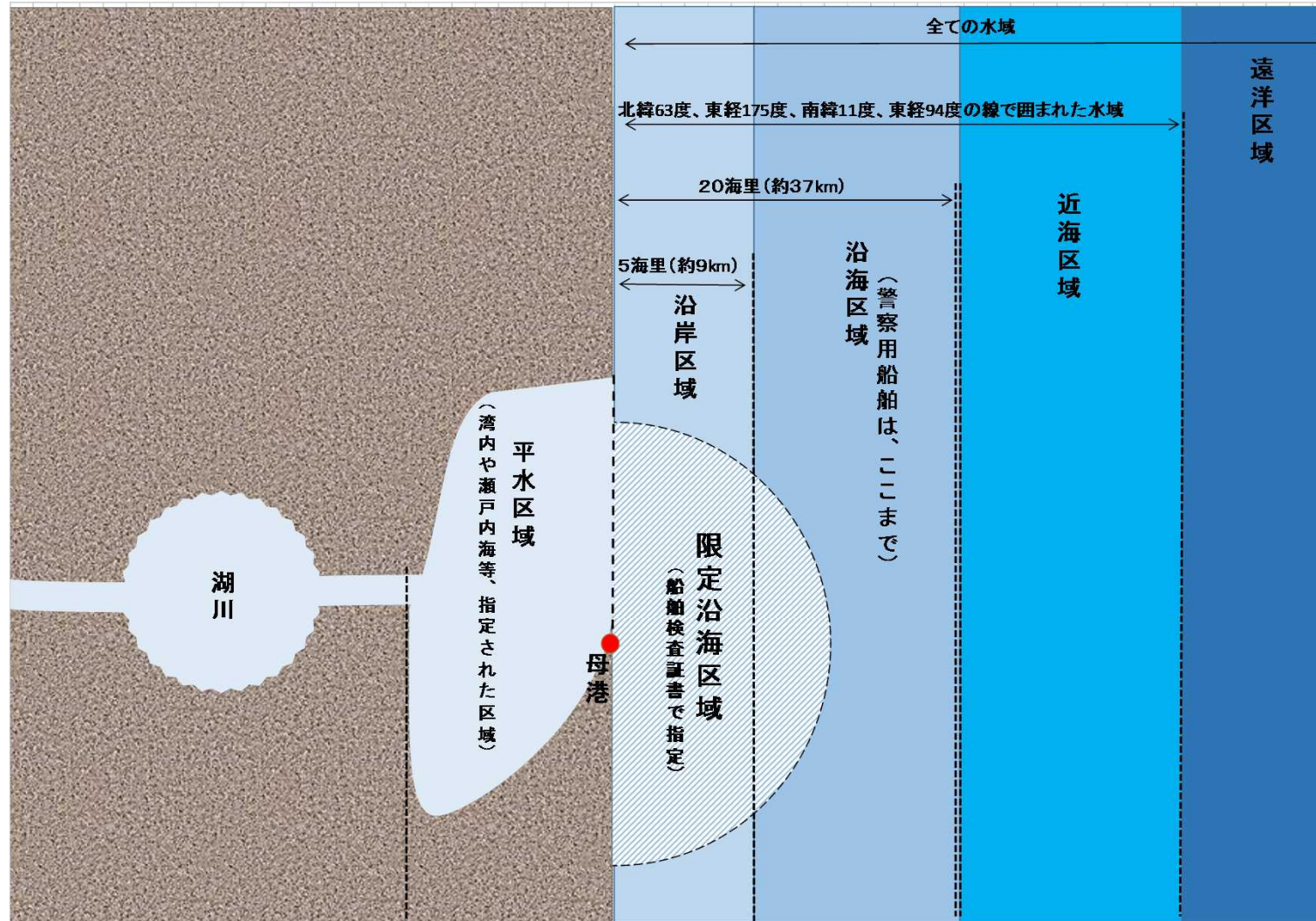
- ・水上レジャーの活発度、対策の必要性
- ・警戒警備対象施設（原発、国際空港等）の有無
- ・離島連絡の必要性
- ・その他都道府県の各水域における状況・体制

等の要因を加味して、具体的な配備港、船種（下記「船種別特性」参照）・隻数を決定している。

### 【船種別特性】

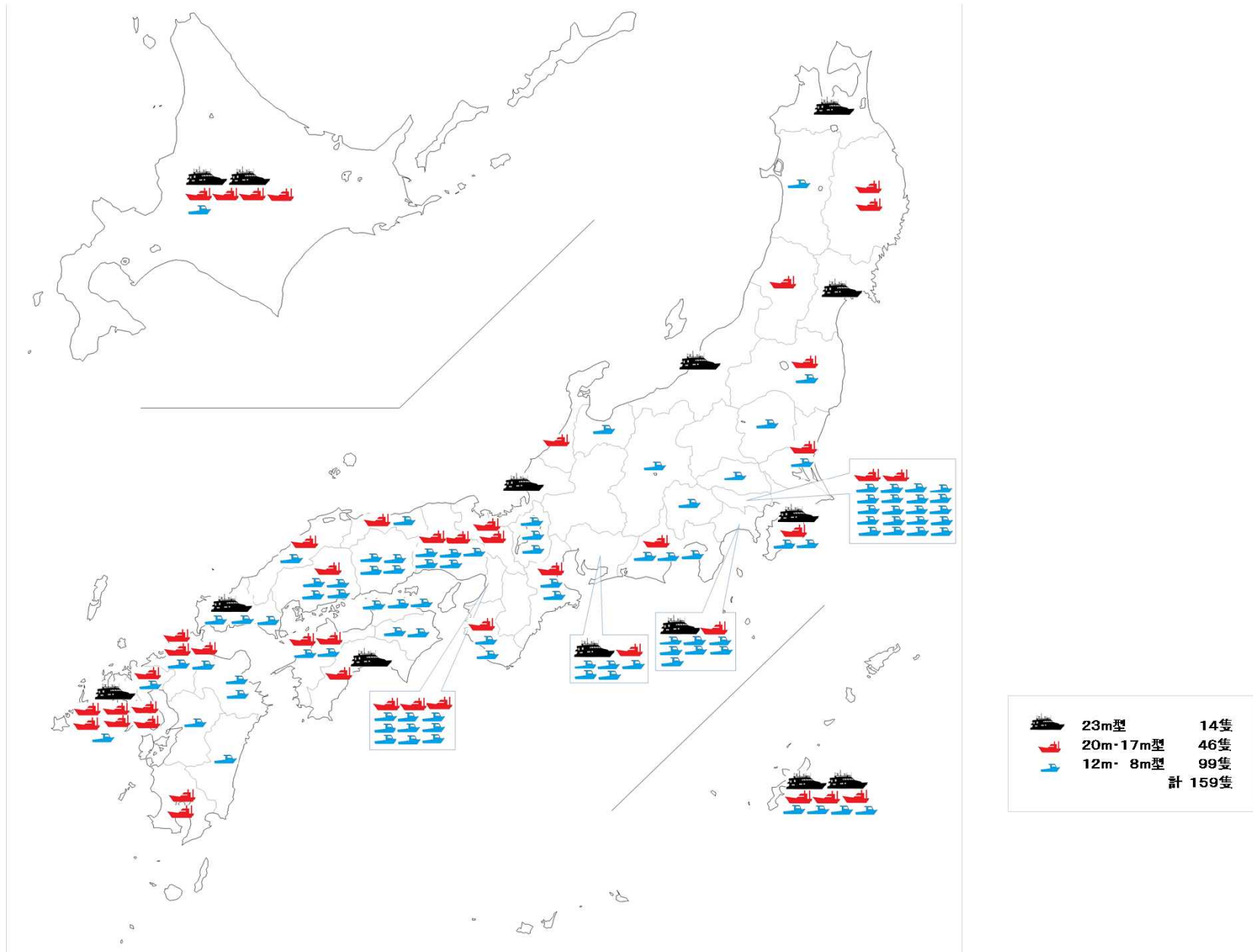
|       | 23m型                                                                                                               | 20m型／17m型                                                                              | 12m型                          | 8m型                              |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 活動水域等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要港湾等を拠点とする水域</li> <li>・管区等における広域運用の拠点港</li> <li>・島嶼部、離島を含む沿海区域</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平水区域より沿海区域の多い水域</li> <li>・離島を含む沿海区域</li> </ul> | 沿海区域より平水区域の多い水域<br>(波風中程度の水域) | 小規模な港湾、河川、湖沼等の平水区域<br>(波風が平穏な水域) |
| 用途    | 密航・密入国、密漁事犯等の海上犯罪対策、災害対策、重要防護施設の警備・警戒、離島連絡等の水上警察活動に重点                                                              | 水上パトロール、水上レジャー対策、沿岸警備・警戒活動、密漁、水難者救助、遺体収容・漂流物回収（8m型、12m型）等の水上警察活動全般に使用                  |                               |                                  |

# 警察用船舶の航行区域





# 警察用船舶の配備状況 (平成26年度末現在)

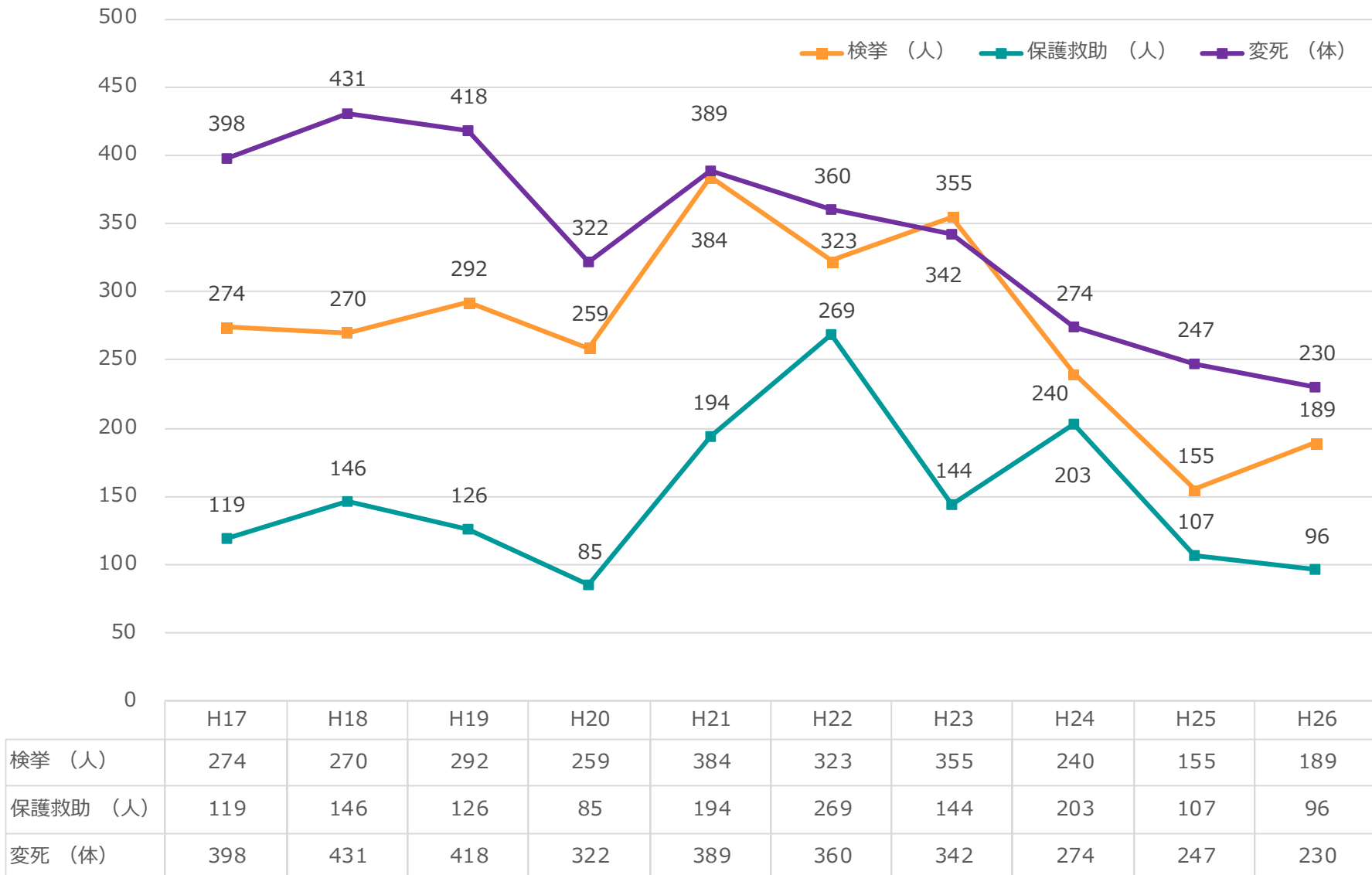


## 警察用船舶の船種別稼働状況

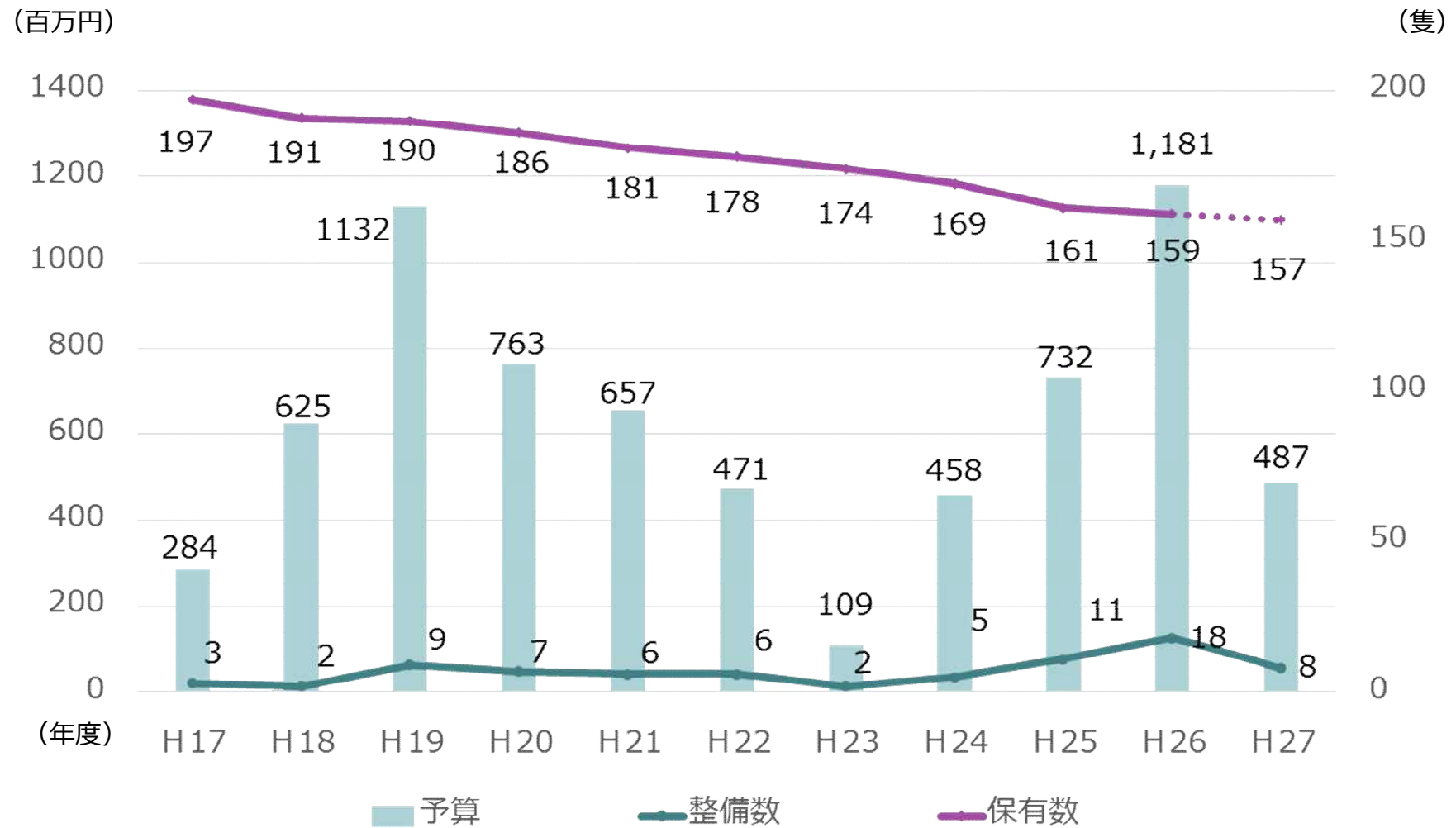
| 船種   | 23m型   | 20m型／17m型 | 12m型   | 8m型    |
|------|--------|-----------|--------|--------|
| 出動日数 | 約120日  | 約140日     | 約160日  | 約110日  |
| 出動時間 | 約400時間 | 約600時間    | 約900時間 | 約500時間 |

※ 1隻当たりの平均【平成26年中】

# 警察用船舶の活動状況



## 警察用船舶の整備状況



## 配備の見直し実績（平成22年度～平成27年度<sup>※</sup>）

### 統合

- ・ 17m型 1隻、12m型 1隻 → 17m型 1隻
- ・ 17m型 1隻、12m型 2隻 → 12m型 1隻
- ・ 12m型 2隻 → 12m型 1隻

### 船種変更

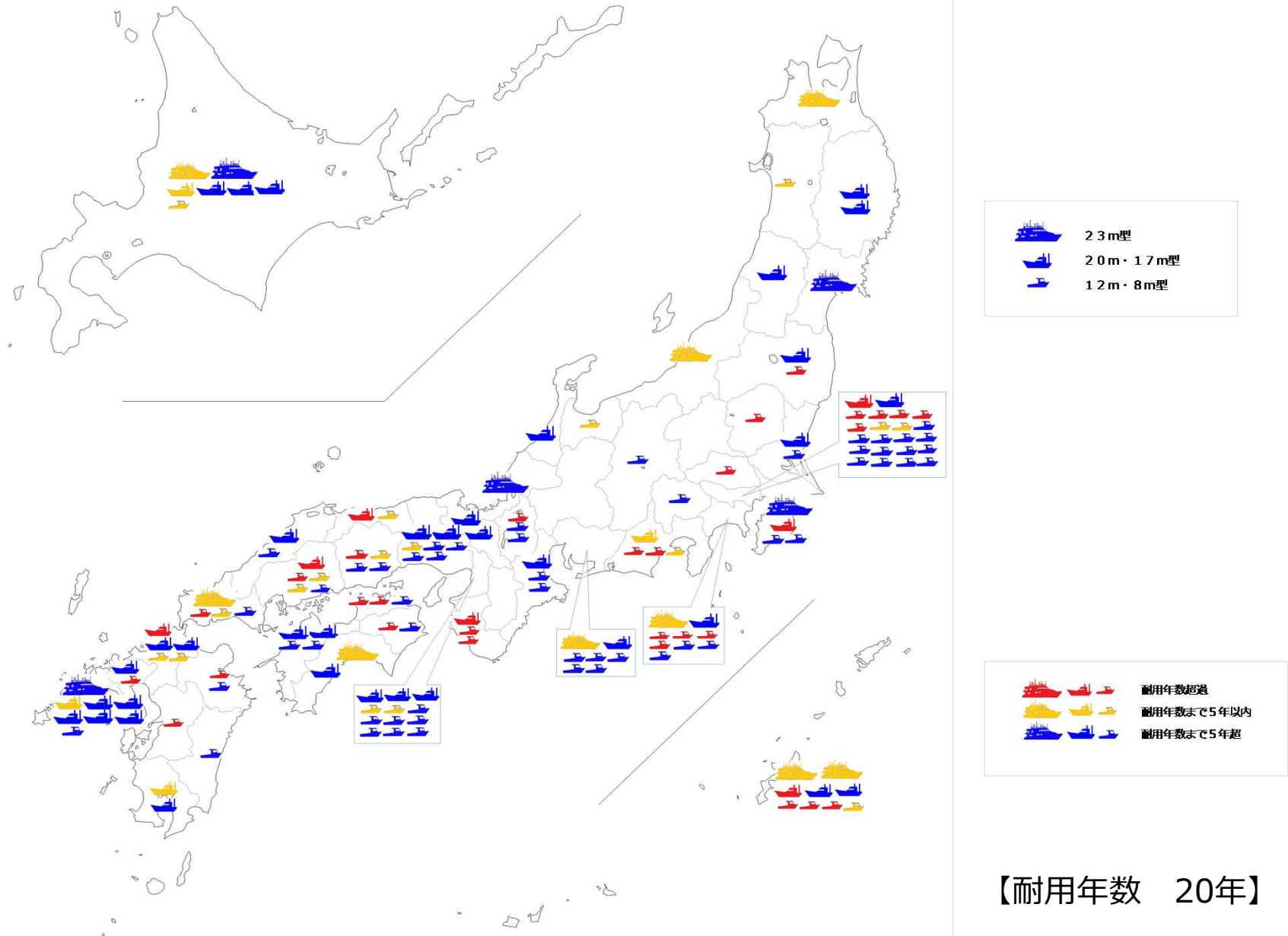
- ・ 20m型 1隻 → 23m型 1隻
- ・ 20m型 1隻 → 17m型 1隻
- ・ 17m型 1隻 → 12m型 1隻

### 廃船（削減）

- ・ 23m型 1隻
- ・ 17m型 1隻
- ・ 12m型 8隻
- ・ 8m型 10隻

※ 平成27年度分については予定

## 警察用船舶の更新状況（耐用年数）



## 警察用船舶の船種別維持費

|       | 23m型     | 20m型/17m型 | 12m型   | 8m型    |
|-------|----------|-----------|--------|--------|
| 年間維持費 | 約1,800万円 | 約1,000万円  | 約300万円 | 約200万円 |

※ 1隻当たりの平均年間維持費（修繕費等）【平成25年中】

## 今後の課題

### 【現状】

- これまでも業務合理化、効率化等により、統合、廃船を推進
  - ・過去10年で40隻（約20%）を削減し、更なる大規模削減は困難
- 厳しい財政状況の中、安定的な予算の獲得が困難
  - ・耐用年数を超過した船舶は36隻（平成26年度末）に上る
  - ・今後も船舶の更新に多額の経費が必要

### 【課題】

水上警察活動に支障を来さないよう配意しつつ、警察用船舶の整備隻数、船舶規模等に見直しの余地はないか。

### 【検討の方向性】

- 船舶の高性能化による船舶の小型化、統合の推進
- 更新年限の柔軟化、船舶ごとに更新の必要性を個別具体的に判断